

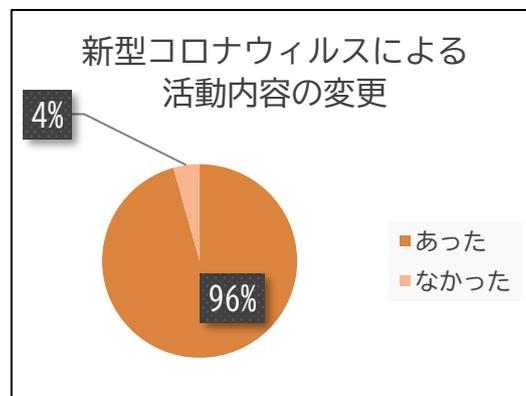
新型コロナウイルス感染拡大への対応に関するアンケート

【結果報告（8月7日現在までの状況）】

送付：294通 回答：184件（回答率：62.58%）

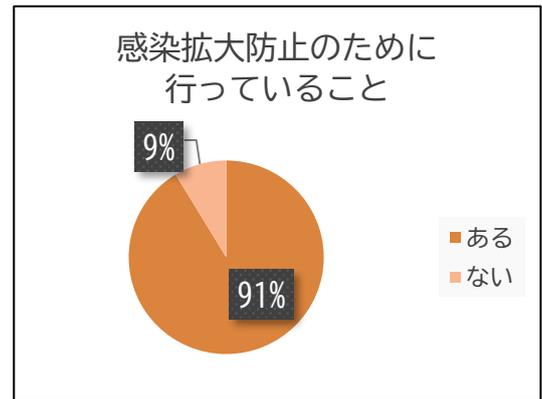
1. 新型コロナウイルスの影響を受け、団体の活動内容に変更がありましたか。

- ・今年度中のすべての行事、会議を中止
- ・公共施設の利用中止に伴い活動できなくなった
- ・会議、集会、イベントの開催が難しくなった
- ・現在もすべての活動を自粛している
- ・総会の開催形式を変更（書面を送付）
- ・6月末までパトロール活動を中止
- ・パトロールする出席者が減少した
- ・堤防清掃は外部のため実施している
- ・施設ボランティアを中止している
- ・高齢者施設等への慰問を中止（施設側からの中止要望もあり）
- ・ボールを使った体操を中止
- ・3月から6月まで体操などの活動を中止
- ・3月から8月までふれあいサロンを中止 ※中止期間は各団体により異なる
- ・サロンを7月に再開したが、8月から再度中止する予定
- ・サロンでのカラオケ（大きな声を出すこと含む）を中止している
- ・サロンとしては中止したが、代わりに訪問活動（安否確認）を実施
- ・サロンの開催回数を減らした
- ・サロンを再開しても1時間程度に短縮している
- ・学習支援ボランティアのすべての活動を休止
- ・福祉実践教室、敬老会等が中止となり要約筆記としての活動ができなかった
- ・外出自粛により知的障害者に対する絵画等のセラピー活動が制約を受けた
- ・外出自粛により通院の送迎回数が減った
- ・図書館や学校などでの読み聞かせが中止（再開は9月以降の予定）
- ・エアコン設備の無い公民館でマスク着用での活動は熱中症の心配があり再開できない
- ・機関紙の発行、配付の延期（保留）
- ・日常生活へのボランティア活動のため、コロナ感染を理由に中止することができないため、活動内容に変更はない
- ・緊急事態宣言解除後に再開したが、一宮市の最近の発生状況から再度中止した



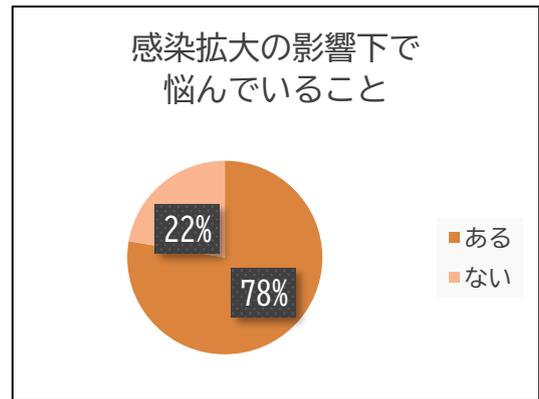
2. 感染拡大防止のために行っていることはありますか。

- ・活動を行わないこと（＝防止につながる）
- ・手指消毒
- ・うがい薬の設置
- ・開催前後に机や椅子を消毒する
- ・会場換気
- ・会場換気のため網戸を修理した
- ・出席前に自宅で検温
- ・マスク、フェイスシールドの着用
- ・手袋の着用
- ・飛沫拡散防止のためアクリル板を設置
- ・席の間隔をあける（向き合って座らない）
- ・以前よりも広い会場で実施する
- ・体調の悪い方は参加を断る
- ・時間を短縮して開催している
- ・茶話会は中止している
- ・対面しない対策をして茶話会を行っている
- ・パトロール活動中は自動車の窓を開けて走行している
- ・パトロール中、大きな声を出さないようにテープレコーダーに録音して行っている
- ・役員会をLINE（またはリモートや電話連絡、メール）で行っている
- ・リモート会議、リモート茶話会を開催している
- ・親子向け講座（サロン含む）をオンラインで開催する
- ・（サロン活動や踊り、演奏などの練習を）人数を制限したり、回数を分けて実施している
- ・湯呑から使い捨ての紙コップに変更
- ・紙コップをやめ、ペットボトルを配付することに変更（お菓子は持って帰る）
- ・外出時に感染拡大防止を訴えるタグを付けている
- ・活動は自己責任で参加してくださいと伝えている（強制せず自由参加）
- ・マスクをしたままでは聴覚障害者とのコミュニケーションがとりづらいため、透明マスクを付けている
- ・コロナ禍において（疾病者や障害者に対して）最も支援が必要な時に行動できないこと
- ・市からの情報をコピーしてスタッフ一同に配付し、情報共有している
- ・一宮市内で2週間新規感染者が0になった時点で実施の可否を検討することとした



3. 感染拡大の影響下、団体の活動を継続する上で、悩んでいること、心配なことはありますか。

- ・感染が一番心配
- ・この状況がいつまで続くのか不安
- ・どのような状況になれば再開していいのか不安
- ・適正な感染防止対策がわからない
- ・中止か開催かの判断基準がわからない
- ・中止のお知らせ（連絡）が大変
- ・感染防止対策にかかる費用が心配
- ・3密や消毒をして対策を行っているが、陽性者が出ないか不安
- ・クラスターが発生した時の風評被害を心配して開催できない
- ・感染の不安を抱えながら、感染防止対策を徹底してまでサロンを開催する必要があるのか（対策をしても感染したらと思うと. . .）
- ・「せめてサロンくらいやってほしい」との声もあるが、公民館が使用できないため再開したくても再開できない
- ・体温計を安価で斡旋してもらえるとありがたい
- ・終息した際に会員が戻ってくるか心配（退会してしまう会員がいる）
- ・家に閉じこもりがちで弱ってしまわないか心配（孤立の心配）
- ・高齢者の場合、耳が遠いためどうしても接近してしまう
- ・再開しても積極的なお誘い（声掛け）が難しい
- ・マスクを着けたままの朗読がづらい
- ・練習ができないため踊りや演奏が下手になるのではないかと心配
- ・施設への訪問ができないことで、練習にも身が入らない
- ・地域からの依頼により成り立っているため、地域行事の有無で団体の活動範囲が左右される
- ・会員から年会費をもらっているけど、活動ができないためどう対応したらいいか悩んでいる
- ・会員が高齢化しているため、集団での活動は注意したい
- ・密にならないように数回に分けて行くとボランティアに負担がかかる
- ・再開後、その都度、消毒作業を行うことが負担になっている
- ・再開後、以前と同じ事が出来ず、時間が保てない
- ・再開後も参加者が少ない（密にはならないが、参加者もいない）
- ・手話の特徴でもある声を出さずに距離を保ってコミュニケーションがとれるのは良かった
- ・活動ができないと補助金を使用できなくなり、余りが出た時の返金（手続き）が心配
- ・コロナ禍で障害のある方を迎えるにはリスクが多すぎる



4. その他（編集後記）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令されたことを踏まえ、年間活動計画に大きな影響が出たことと思います。

一旦は落ち着きましたが、ここ最近「第2波」または「予想以上」と言っているほど再び感染が拡大し、一宮市内でも急激に感染者が増加しています。

このような状況下で、「活動を再開していいものか」「3密対策はどのようにすればいいのか、どの程度の対策をすればいいのか」など、検討会議も思うように開けない状態で大変ご苦労をされていることと思います。

一宮市社会福祉協議会では、活動を再開（実施）するにあたり、各グループができる限りの感染予防対策を施し、参加者も自己でできる対策をしっかりとしてもらったうえで、自己責任で参加していただくという方法で活動を再開していただければと思っています。

体調が少しでも悪い場合は無理をせず、参加を見合わせることも大切です。慌ただしい毎日だったことを、少し余裕をもって、ゆったりと生活するスタイルに変更していただければと思います。

まだまだこれから長く活動を続けていっていただきたいグループばかりなので、今年はずいぶん長い目で見た短い休息時間であってもいいのかなと思います。

心配や不安は尽きないと思いますが、焦らず、ゆっくりと前へ進んでいきましょう。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

